



未成年者喫煙防止講習会

発表者

栗原保健所 成人・高齢班 高橋 恵

はじめに

- 健康日本21

- みやぎ21健康プラン(改訂版)

⇒たばこ対策の目標値が設定されている。

宮城県は全国に比べても喫煙者が多い現状がある。

全国ワースト9位

- くりはら市民21健康プラン(改訂版)(平成23年4月)

喫煙者の減少が新規項目として取り入れられた。

⇒「未成年者喫煙防止講習会の実施」

市内中学校全てへの介入を目指すもの。



本事業は平成21年度から開始し、4年目を迎えている。

《教育現場及び栗原市での現状把握》

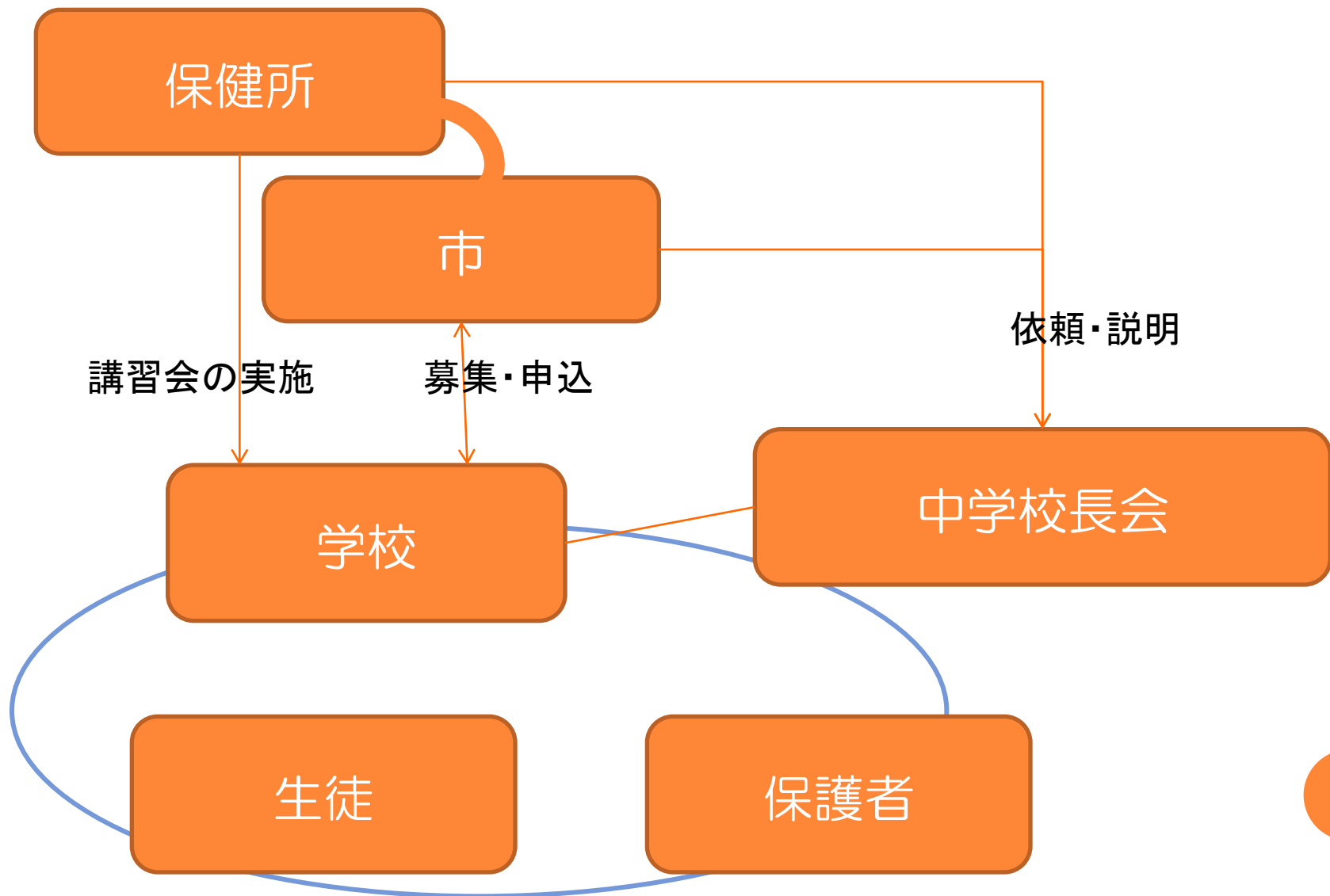
- 栗原市において、喫煙防止教室は実施されていなかった
- 県に期待する取組では、出前講座が多かった

現在は、市の事業としても、中学校の授業の一環としても認知され定着している。

平成21年度より市内小中高等学校において、敷地内全面禁煙となったことが追い風になった。

このことから、これまでの取組を検討し、今後のたばこ対策について提案するもの。

【事業実施の流れ】



【講習会の流れ】

内容	時間	すすめ方
①自己紹介 ②事前アンケート 記入(表) ③オリエンテーション ④資料配付	10分	②アンケートは表のみ記入し、用紙を裏返して自分の机に置く。 ③今日の流れやねらいを話す。
⑤講話	30分	⑤パワーポイントを使用し、たばこの成分と害、受動喫煙等について話を する。 *将来、どちらの道を選択するか？
⑥まとめ ⑦事後アンケート 記入(裏)	10分	⑥印象に残ったことはどんなことかな ど生徒に問いかける。 ⑦事後アンケートを記入し、提出して もらう。 ※時間があれば感想を発表してもらう。



【成果①】

平成24年度 市内全9校で実施

⇒実施率 100%達成



- 平成21年度から4年間
累計32校で実施。
アンケート回収数 2397
 - ・生徒 **2326**
 - ・保護者 **71**
 - 各学校で認知され定着
しつつある。
- ⇒各校担当者が明確になり、保健体育教諭または養護教諭となった。



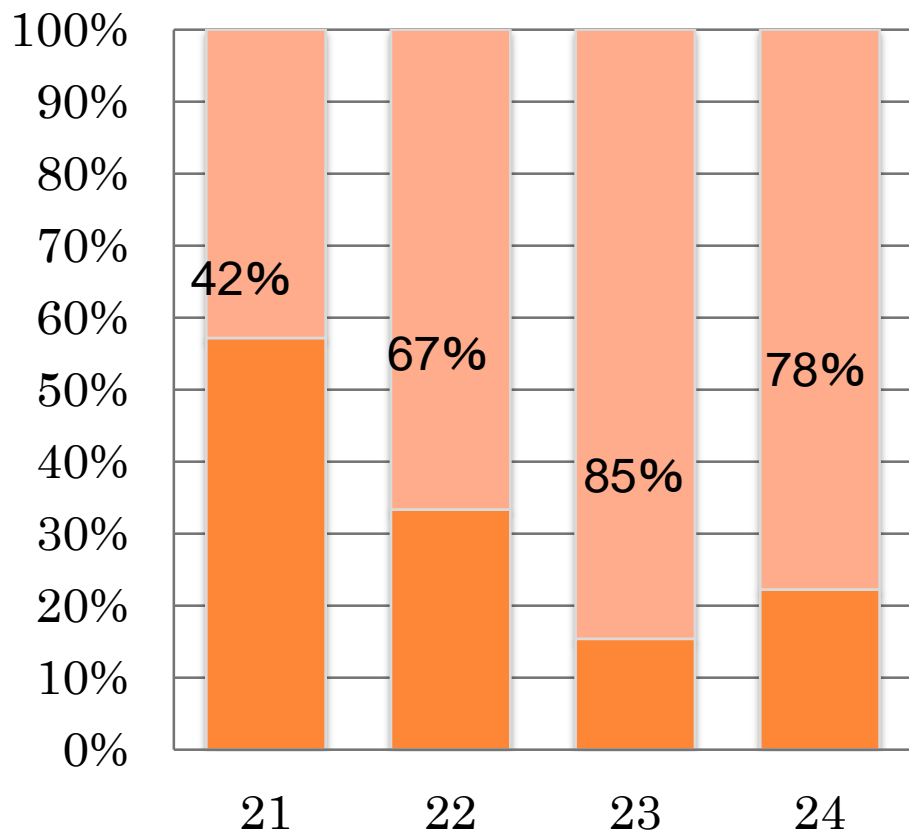
【成果②】

初年度は保健所が主体的に実施。

⇒現在、市職員が主体

講習会実施者

市
保健所

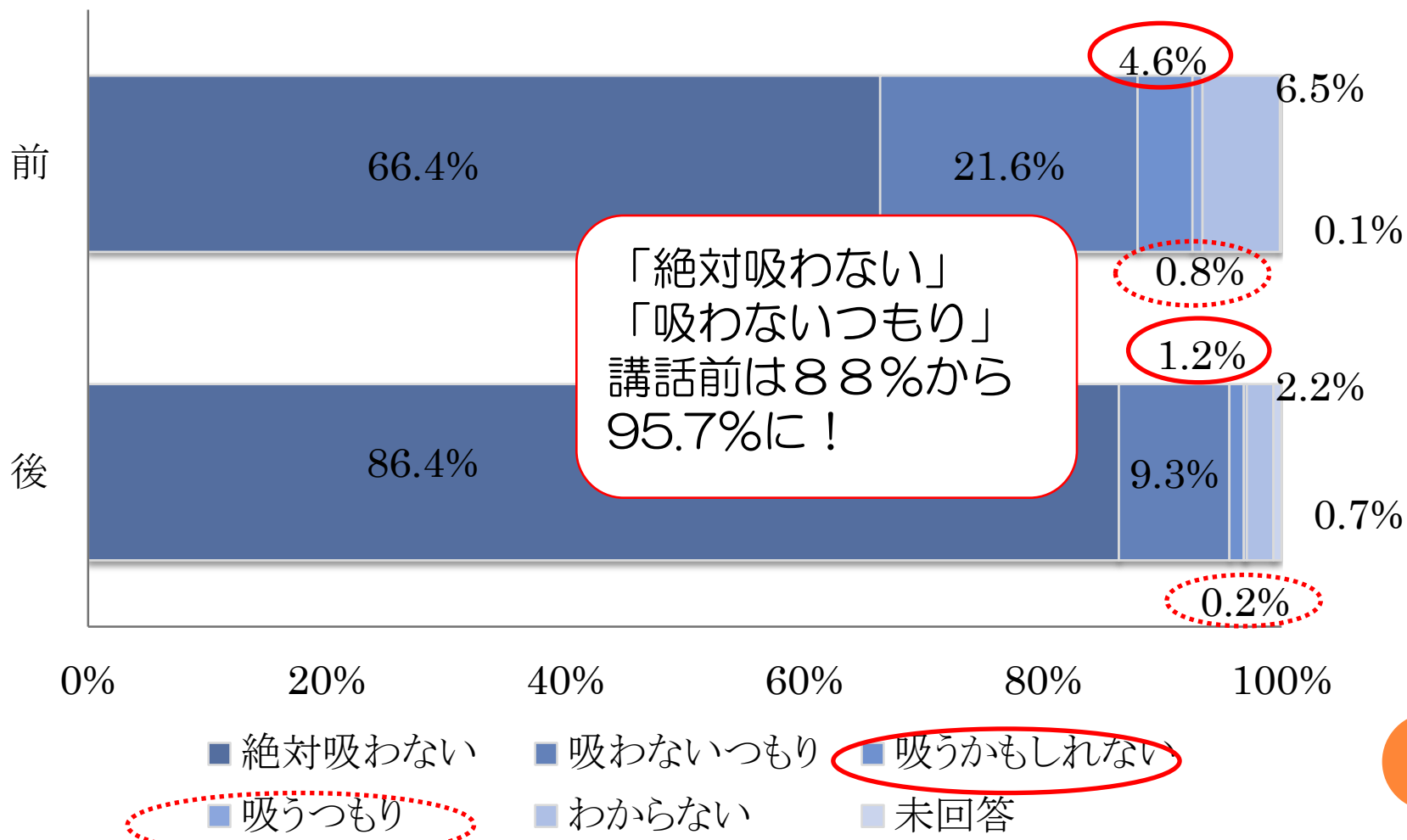


- 栗原市のたばこ対策が進展するきっかけとなった。
- 市の健康プランの目標項目の設定。
- 公共施設の受動喫煙防止対策の進展

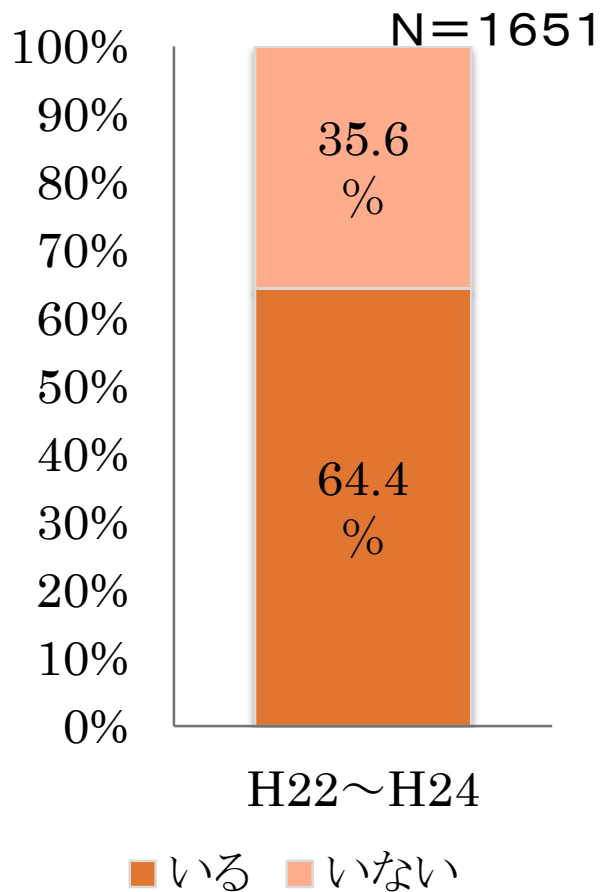


【成果③】

講話の前後における意識の変化



平成22～24年のアンケート結果より 【家族に喫煙者がいるか】



- 各学校，年度により多少の差はあるが，概ね60～70%の家庭で喫煙者がいる。
- 喫煙者は年々減っているが，受動喫煙にさらされている生徒は多い。
⇒やめてほしいと考える生徒も多い。



【感想】

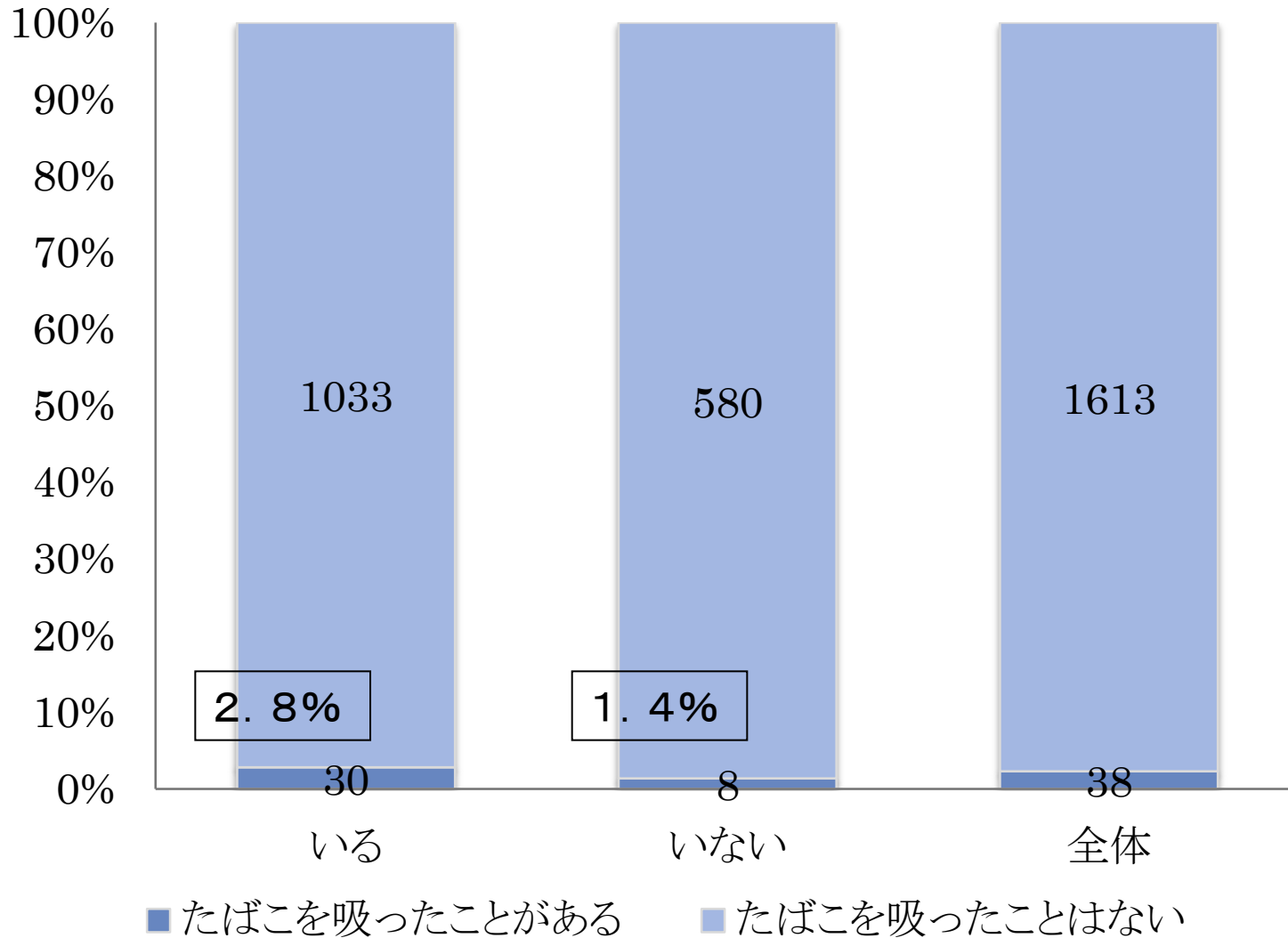
家族にたばこを吸う人がいる

- 私の家族が吸っていて、正直タバコが嫌いです。しかも10月に姉の子供が生まれ、なおさらやめてほしいと思いました。「タバコやめて」その一言がどうしても言えなくて悔しいです。今日の講話を聞いて改めてタバコの怖さを知りました。今日勇気をだして「タバコやめて」と言いたいです。今日は本当にありがとうございました。
- 僕は最初に先生が言うように、大人になったらタバコを吸うのが当たり前だと思っていたので、講習を終えてタバコを吸わないようにしようと思いました。

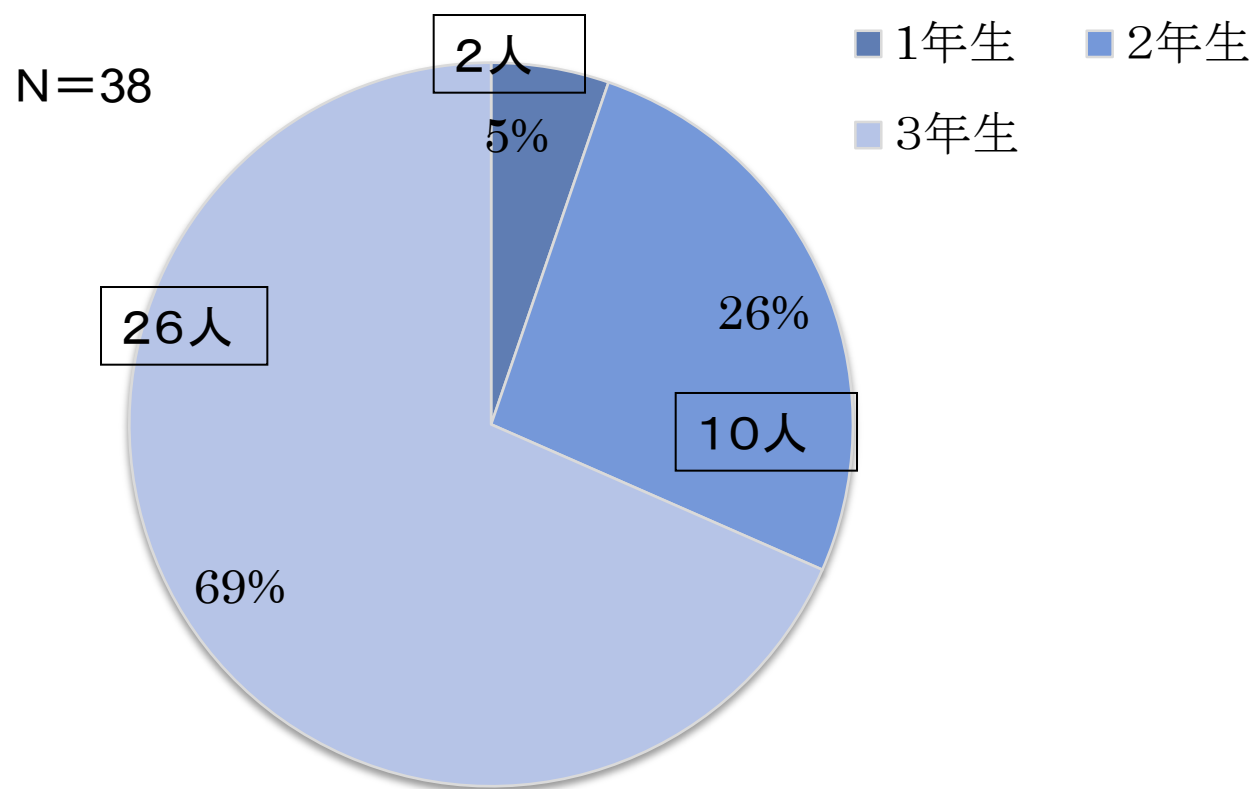


家族の喫煙者の有無と

たばこを吸ったことがある人の比較【H22～24】



たばこを吸ったことがある人の学年ごとの内訳



※小学生の時にすでに、たばこを吸っている生徒もいた。



たばこを吸ったことがある人の感想

- タバコはこんなに危ないのに自分はすってしまったからこれからは、ふざけてタバコをすわないようにする。
- 今までたばこの本当の怖さをしらなくて、軽い気持ちで「大人になったら吸いたい」思っていたけど、今日の話聞いて、絶対に吸わないようにしたいと思いました。
- 前からタバコは体に悪い物だと知っていたが、今回の講話で具体的にどうなるかが分かった。大人になったら絶対に吸わないようにしたい。受動喫煙をしないように気を付けていきたい。



●講話を聞いた保護者の感想

- 今日はありがとうございました。言葉で「たばこは体に良くないもの」と言ってもわからないと思います。実際に写真や絵で見せてもらって、絶対によくないものだとわかってくれたと思います。あの写真などをお父さんにも見せて禁煙してもらえるとうれしいです。
- タバコによる危険について、とても分かりやすく説明していただき、子供達もたばこの怖さを学ぶことが出来たと思います。夫も朝晩1～2本と減ってはきているのですが、最後の1本がやめられないようです。本日のお話を参考に娘と共に話しを聞かせて止められるよう声かけしていきたいと思います。本日は貴重なお話をありがとうございました。



- 吸い始めた自分にも責任はあるけれど、家族にも迷惑や心配をかけてしまうので絶対にすいたくない。
- 自分が政治をできるなら、日本を禁煙大国にしたいなと思った。
- 体に悪いんだったらタバコを作らない方がいいんじゃないかと思った。

**自分や家族の健康を、将来を
真剣に考えている**



今後に向けて

- 将来の非喫煙率の増加に期待できる

数年後, 成人する年代へ正しい知識の普及

- アンケートの継続と分析

⇒意識・知識の変化

- 保護者の参加する機会での実施

- 社会環境の整備

生徒から家族, 教師, 地域へ。

高校生等, 上の年代での
たばこへの意識・知識の調査
を検討する。

**学校の未成年者喫煙防止の取組みは
将来の喫煙者の減少につながる**

